

政務活動実施報告書

令和8年4月20日

村上市議会議長 三田 敏秋 様

議員名 魚野 ルミ



私は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

用 務 名	先進地視察
実 施 日 時	①令和8年3月26日（木） 午後 1 時 00 分 ～ 午後 4 時 00 分 ②令和8年3月27日（金） 午前 9 時 30 分 ～ 午前 11 時 30 分
用 務 先	①山形県山形市（道の駅やまがた蔵王）、山形県米沢市（道の駅米沢） ②宮城県白石市（白石斎苑）、宮城県柴田郡村田町（柴田斎苑）
参加議員名	※同行議員がある場合記入すること。 魚野ルミ、富樫雅男、小杉武仁、河村幸雄、渡辺 昌、尾形修平、鈴木一之、鈴木いせ子、川村敏晴、大滝国吉、三田敏秋
全体参加者数	※同行議員がある場合記入すること。 11 名
概要及び所見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別紙のとおり
備 考	



## 視察報告書

魚野ルミ

村上市議会における行政視察として、山形県・宮城県にて有効活用や施設運営に関する視察を実施した。

### 3/26（木）1日目：道の駅視察（道の駅米沢・道の駅やまがた蔵王）

初日は、特色ある運営を行っている道の駅2施設を視察した。両施設とも地域資源を活かした魅力づくりがなされており、来訪者のニーズを的確に捉えた運営が印象的であった。

特に、同じ「道の駅」という枠組みでありながら、運営に携わる人材の意欲やビジョンの違いによって、施設の活気や収益性、地域への波及効果に大きな差が生まれることを実感した。

単なる物販・休憩機能にとどまらず、地域の魅力発信拠点としての役割をいかに高めるかが重要であり、本市においても運営体制や人材育成の観点から検討すべき点が多いと感じた。

### 3/27（金）2日目：斎場施設視察（泉南地域広域行政事務組合・白石斎苑・柴田斎苑）

整備された施設は、利用者の心情に配慮した設計が随所に見られ、導線が非常に工夫されており、利用者にとってストレスの少ない環境が整えられていた。

また、通常は目にすることのない施設の裏側についても説明を受け、運営の工夫や配慮の積み重ねが円滑な施設運営につながっていることを理解することができた。

人生の節目に関わる施設であるからこそ、機能性ととともに精神的負担の軽減が重要であり、本視察は非常に有意義であった。

## 総括

今回の視察を通じて、施設の規模や設備だけでなく、「運営する人」と「運営方針」が施設の価値を大きく左右することを強く認識した。

今後は、本市における施設運営や地域活性化の施策において、今回得た知見を活かし、より実効性の高い取り組みにつなげていきたい。